

# 「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

<b>企画名</b>
ものづくりワークショップ -デジタル展のフシギ空間設計-
<b>実施日</b>
平成 28年 6月 11日(土) ~ 平成 28年 9月 22日(木)
<b>実施場所</b>
(制作場所) 工学部 A1 棟おもしろラボ
<b>企画代表者の氏名, 所属</b>
氏名: 橘高 允伸 所属: 工学部第二類システム工学課程 4 年次
<b>構成員の氏名</b>
尾倉侑也、岸下優介、川嶋克明、江藤慎太郎、関塚良太、戸塚正明、水口翔太、萩山直紀、木下直樹、市原和也
<b>指導的立場の教員氏名</b>
栗田雄一 准教授 (生体システム論研究室)
<b>企画の目的及び内容</b>
<p>本企画のメンバーである橘高、尾倉が所属する学生団体 HSC (Hiroshima Student Community) では 9 月 19 日、22 日に東広島市福富町にあった道の駅で、デジタルコンテンツの体験型イベントを開催しました。道の駅のイベントにおいて、コンテンツの体験ブース作りは非常に重要であり、ブースづくりの出来不出来によりイベントのクオリティは大きく変わると考えています。そこで、ワークショップ形式のイベントを複数回行いながら、ブースを作ることでブースのクオリティ向上を目指すのが本企画の目的です。</p> <p>なお、本企画運営は道の駅イベントの主催である HSC に加えて、生体システム論研究室の学生にも協力して頂く<sup>*1</sup> ことで、工学部の学生と他の学部や他大学の学生<sup>*2</sup> との交流が生まれることが期待できます。また、道の駅で開催されるイベントにおいて、主催の HSC 以外の学生も協力していることは</p>
くこり
く
く

# 「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

(裏面)

## アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

行っておりません。

## 成果・課題

### 〔成果〕

#### ・デジタル展のブース作り

ブース作りでは、暗い空間を光でフシギな空間に演出することができました。プロジェクターやパソコンをできるだけ見えない調子で工夫など細部までこだわり、学生全員で協力して考え、ブース作りを行いました。

来て頂いた方によりフシギな空間を体験して頂けたと考えます。

#### ・学生の交流

本企画には、生体システム論研究室の学生だけでなく、他の学部や他大学の学生にも参加して頂き、広島大学内だけでなく大学間での学生の新しい交流の活性化につながったと考えます。道の駅で開催されたイベントにおいて、主催のHSC以外の学生も協力して行えたことはイベントとして大きな意味があることだと考えます。

### 〔課題〕

何をいつまでに作成するか、何を優先的に行うかなどを考え、スケジュール管理を行うことが上手く出来ないことがあったので、計画性において課題があると考えます。

(写真)